

集合的視線推定システムに関する実証実験に関するプライバシーポリシー

(プライバシーポリシーの目的)

第1条

本プライバシーポリシーは、アジア太平洋トレードセンターにおいて実施するパブリックディスプレイのための集合的視線推定システムに関する実証実験（以下、「本実験」という）及び本実験に関する撮影（以下、「撮影」という）に関して、実施主体である大阪大学大学院 情報科学研究科 准教授 菅野 裕介（以下、実施主体という）が遵守する事項を定めることにより、被撮影者のプライバシー等の権利及び法律上の利益を保護することを目的とします。

(定義)

第2条

本プライバシーポリシーにおける用語の定義は、本条次項以降に定めるものを除き、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第59号。以下「独立行政法人等個人情報保護法」という）第2条の定めるところによります。

2 本プライバシーポリシーにおいて「撮影データ」とは、本実験においてカメラにより撮影された特定個人を識別できる画像データのことをいいます。

3 本プライバシーポリシーにおいて「特徴量データ」とは、撮影データを解析して抽出した、特定個人を識別できるデータのことをいいます。

4 本プライバシーポリシーにおいて「属性データ」とは、データ又は特徴量データから被撮影者の性別、年代、体格等の属性を抽出したデータであって、特定の個人を識別できないデータのことをいいます。

(本実験によって取得する撮影データ)

第3条

本実験では、被撮影者の顔画像が含まれる撮影データを取得します。

(本実験の目的)

第4条

本実験は、カメラ画像を入力とした視線推定技術の有効性を実証することで、マーケティングや人物誘導支援による経済活動の効率化に資することを目的とします。

(撮影の実施方法)

第5条

実施主体は、アジア太平洋トレードセンターITM棟2Fハーバーアトリウムに設置されたデジタルサイネージシステムにカメラを配置し、当該カメラの設置場所付近を通過する人を撮影します。

(実施主体の義務)

第6条

実施主体は、本実験の実施にあたり、個人情報の取得等が第4条所定の目的を達成するため必要最小限のものとなるよう配慮し、かつ本実験により取得した個人情報の漏洩、意図しない滅失またはき損の防止その他個人情報を安全に管理するため、大阪大学が定める個人情報保護規則に基づいた管理体制のもとで安全管理措置を講じます。

2 実施主体は、管理体制としてデータ収集管理責任者を定めます。

(データ収集管理責任者の義務)

第7条

データ収集管理責任者は、撮影当日、撮影装置付近に、撮影中である旨、研究題目、実施主体並びに問い合わせ窓口を、少なくとも1枚のポスターを貼付する方法により公示します。

2 データ収集管理責任者は、撮影実施場所において、撮影の実施予定日、研究題目、実施主体及び問い合わせ方法を、少なくとも1枚の1枚ポスターの貼付及びウェブサイトによって告知します。

3 データ収集管理責任者は、本実験の実施中及び終了後1年間、本プライバシーポリシー及び本実験の概要を、実施主体の運営するウェブサイト上に掲示します。

(撮影データの管理)

第8条

本実験の撮影データは、実施主体に所属し本実験にかかわる者のみがアクセスできます。

2 実施主体は、本実験により取得した撮影データを本実験の目的達成のために必要最小限の範囲で利用します。

3 実施主体は、他の法令に定める場合を除き、本実験により取得した撮影データ又は特徴量データを第三者に提供しません。

(関連法規等の遵守)

第9条

実施主体は、本プライバシーポリシーに定めるほか、日本国の個人情報の保護に関する法律、独立行政法人等個人情報保護法、各地方自治体の定める条例及び各種ガイドラインを遵守します。

(個人情報に関するお問い合わせ窓口)

第10条

本実験で取得した個人情報の取扱いに関するご意見及びお問い合わせ等については、下記に記載するデータ収集管理責任者まで、メールなどでご連絡ください。

[お問い合わせ先]

実施主体、データ収集管理責任者：大阪大学大学院 情報科学研究科 准教授 菅野 裕介

連絡先：sugano@ist.osaka-u.ac.jp

以上